

### 3 カーシェアリング事業 ……環境NGOとのコラボレーションによる環境活動の展開

2001年3月、グリーンコンシューマー活動等に取り組んでいる環境NGO「西日本リサイクル運動市民の会」から、交通渋滞緩和や地球温暖化防止のため、低公害車を用いた「カーシェアリング」の事業提案と協力要請を受け、同じく提案を受けた福岡市とともに、約1年間の三者による検討、協議を経て、事業化が実現したものです。

運営主体は、NPO法人カーシェアリングネットワーク(以下NPO法人という)で、2002年10月から福岡市内において事業を実施しています。

カーシェアリングは個人で車を所有せず、車の管理運用組織の会員となり、共同で車を利用するシステムで、1980年代後半にスイスにおいて車にかかるコストを少しでも低減させたいとの意図から自然発生的に始まったと言われています。その後、排ガスの削減や交通渋滞の緩和にも繋がる取り組みとしても注目され、最近では欧米で事業としての広がりを見せています。日本では1990年代後半から国の外郭団体や自治体等で実験的な取り組みがなされていましたが、2002年4月に横浜で国内初のカーシェアリング会社が設立されました。福

岡は2番目の事業化となります。

九州電力は、車両約20台の導入費用と無人貸出システムの開発費用等8000万円の資金提供のほか、電気自動車の実証研究により蓄積してきたノウハウの提供や車両の走行データの解析等で協力・支援を行っています(福岡市は車両10台を無償貸与)。

当該カーシェアリング事業の主な特徴は以下のとおりです。

- ①環境NGO、自治体、企業のコラボレーション事業である。
- ②日本で初めてのNPO法人によるカーシェアリング事業である。
- ③まちづくり団体とも連携し、まちづくりとリンクした車の配置や利用方法などを模索している。
- ④電気自動車の充電用電気には、日本自然エネルギー㈱の「グリーン電力証書」を活用し、世界初の風力発電で走る電気自動車とした。
- ⑤利用人数や利用目的等に応じて自由に選択できるように6車種を揃えた。
- ⑥30分からの短時間で利用できるような料金設定としている。

2002年の10月に第1号ステーションを開設して以来、2003年7

月までに5ヵ所のステーションを開設し、24台の車両を導入して事業を展開中です。

7月末現在で延べ935名の方に利用いただき、低公害車を利用したことによるCO<sub>2</sub>削減量も2トンに達しています。

現在、車両1日1台当たりの平均稼働時間が1時間と当初目標の1/3程度にとどまっています。今後は、カーシェアリングの効果をPRしつつ会員数を拡大することが課題です。



第1号の箱崎宮前ステーション



試乗会(総合研究所)

#### ■ カーシェアリング事業の概要

実施主体	特定非営利活動法人 カーシェアリングネットワーク
事業目的	○地球温暖化防止、エコロジカルな交通システムの確立 ○ビジネスモデル構築のための知見収集・蓄積
設備状況 (2003年7月14日現在)	ステーション：福岡市内5ヵ所にステーション(展開中) 導入車両：低公害車24台

